

広い世界に飛びだそう～校長先生からのメッセージ～

校長 宮崎 栄治

いきなり、窓口の事務員は、あからさまに顔を曇らせ、右手でシッシッと追い払うような仕草をした。しまった！料金支払のためにお札を差し出した手が、左手だった。右手は荷物でふさがっていたのだ。仕方なく、右手で別のお札を差し出した。今度は受け取ってもらえた。

それは、東南アジア、マレーシアの首都クアラ・ Lumpurにある国立マラヤ大学の構内の郵便局の中での出来事だった。今から約20年前、ひよんなことから、文部省(現 文部科学省)の派遣で、この大学の基礎科学部予備教育部日本留学特別コースの講師として働き始めたのである。

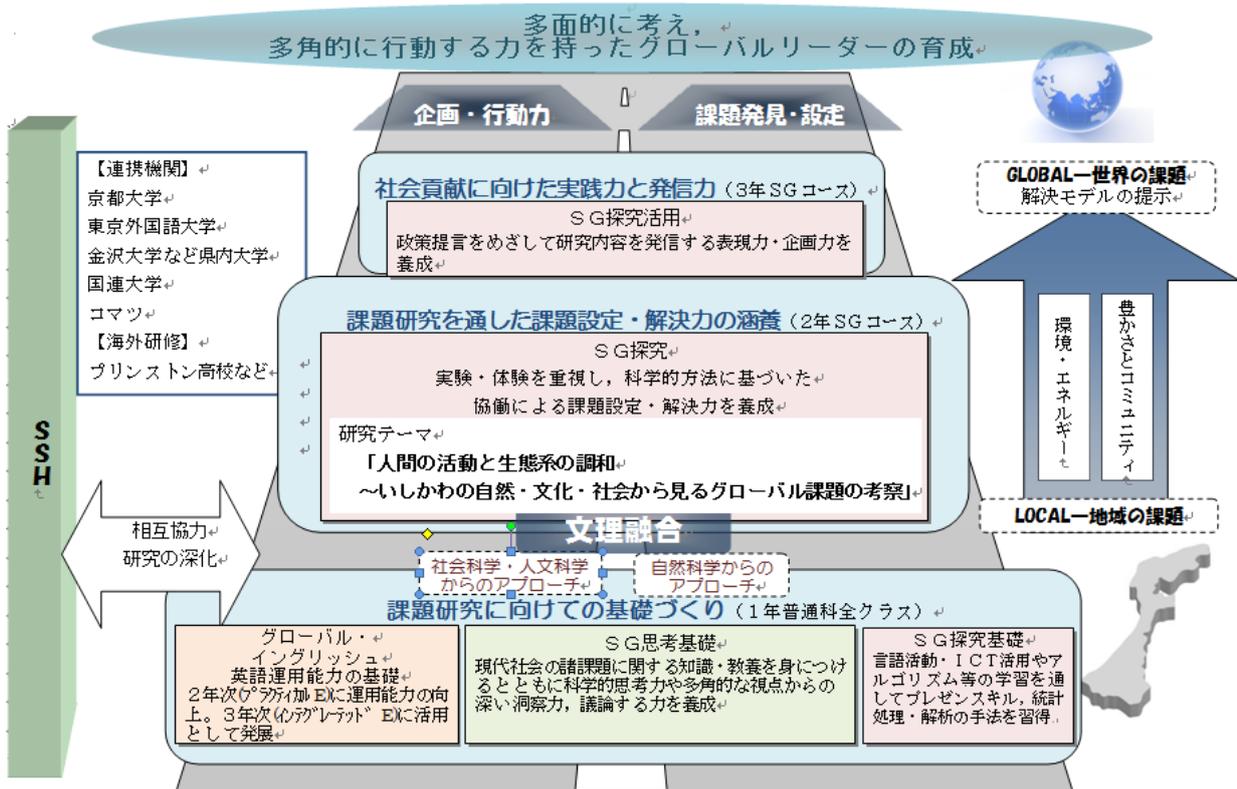
話がそれた。大事なものは「左手」である。彼の国の人口の6割を占めるマレー人の多くはイスラム教徒である。イスラム教では、左手は不浄とされ、対人的には使ってはならないのである。このタブーを犯したため、追い払われそうになったのだ。

この他にも、宗教上のタブーはいくつかある。豚肉の入った料理を食べてはならない。アルコールは飲んではいけない。(修学旅行の交流で訪れた福岡県の高校生のお土産が生味噌汁のインスタント味噌汁だったが、味噌の保存料にアルコールが使われていたため、現地学生は食べられずに、日本人教員がなくなるまで毎日食べることになってしまった。) 女性は肌を露出してはいけない。(ひざ上丈のスカートなんてとんでもない!) 自分の夫以外には頭髪を見せてはいけない。(現地で「トドン」と呼ばれるスカーフで頭を覆って髪の毛を見えないようにしている。)

文化の違いはいろいろあるものだ実感した。それらは現地で体験することによって、確かなものとなる。私はその後、他人に物を手渡すときには、決して左手を使わなかった。経験、実感することが大切だ。体験して初めてわかることもある。

生徒の皆さんには、広い世界に目を向け、チャンスがあれば飛び出して欲しいと思っている。

石川県立金沢泉丘高校スーパーグローバルハイスクール

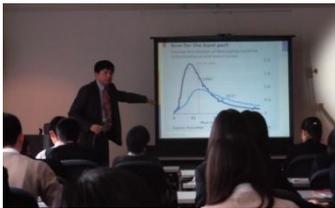


国連大学(東京)を訪問しました!! (SG コース)

3月28日(月)~29日(火)に国連大学を訪問し、グローバルな課題研究テーマを設定するためのヒントを探して来ました。2日目の東京外大と JICA の各コースには本校 OB・OG が講師やガイドを務めており、未来の自分たちの姿のモデルとして、あこがれを抱いたことと思います。今まで勉強してきたことが目の前で活かされる楽しさを知った2日間でした。

☆旅程表☆

- 1日目: 国際連合大学にて、様々なレクチャーを受講後、国連大ビルガイドツアー
- 2日目: 東京外国語大学・日本ユニセフ協会・国際協力機構 JICA の各コースに分かれ、コース別に研修



今日の講義で一番印象に残っている言葉が、「15年後を考えると、15年前がヒントになる」です。これは日常生活でもいえることだと思い、何事も振り返って反省し、改善していくという深い言葉だと感じました。

英語での会話だったが、自分の言いたいことが伝わらない部分、相手の言いたいことが聞き取ることができない部分が多くあった。英語力を上げれば、もっと膨らんだ会話ができ、もっと興味深い話が聴けるであろうから、英語力を高めたいと思った。(東京外大 J-1)

今回気づいたことは、自分たちとは普段関わらないような国でもいろんな事が毎日起きていて、世界中の問題を解決するためにたくさんの方が努力していること、努力するために学んでいる人々がものすごい意欲を持っていることでした。感激しました。

ユニセフは「子供を支援する機関」というイメージしかなかったけれど、実際は村人と一緒に井戸や給水所、トイレを作ったり、保健センターで様々なことを教えたりと、発展途上国の子供達の生活を向上させるための様々な活動を行っていることがわかりました。(ユニセフコース)

貧困で教育が受けられないということは負のスパイラルを生んでしまうものであり、それを改善する重要性が分かった。また、協力隊として現地へ向かったら、現地の方々との母語で交流しなければならないので、やはり言語の壁を乗り越える必要性を感じた。(JICA J-1)

「NS 探究α」ではどんなことに取り組むのか? (普通コース文型)

普通コース文型の皆さんが今年度取り組む「NS 探究α」という科目ではいったいどのようなことに取り組むのでしょうか。

1年生:
ローカル課題を発見する
調査・発表

2年生:
ローカル課題について新たなテーマを設定し、「研究」へと深化させる。
各種全国コンクールや NSH 合同発表会も参加予定!!



グローバルリーダー養成講座を行います!!

6月6日(月) 放課後

グローバルリーダーシップ養成講座: 希望者

JICA 海外青年協力隊の海外活動経験のある方がお話に来て下さいます。

詳細は後日ご案内します。

まだまだ様々な企画を準備中です!!